

【第 105 回対策本部会議】 10 月 8 日

健康福祉部長／感染者数は、1 桁が 1 週間続いている。

入院者は 32 人、病床使用率 6.9%。うち、重症者が 1 人、使用率 2.1%。ホテル療養者は 23 人、使用率 4.5%。自宅療養者はいない。

6 月 1 日～10 月 7 日までの感染者数のうち、92%がワクチン未接種か 2 回の接種が完了していない人たち。その 92%を年代別で分けると、20 歳代以下が 52%と半数を占めている。

10 月 1 日からの 1 週間で、ワクチン未接種の感染者は、すべて 40 歳以下。なかでも、30 歳未満が 7 割近い。ワクチンは、発症予防と重症化予防に高い効果がある。12 歳以上の若い人は、ワクチン接種について積極的に考えてほしい。

また、2 回の接種が完了していても、マスクの着用など感染予防策を引き続きお願いする。

ワクチン接種調整チームリーダー／12 歳以上のワクチン接種率は、1 回目が 82.2%、2 回目は 73.3%になった。年齢層別では、高齢者層が 90%、20 代は 60%、30 代は 70%と、まだ多くの人が未接種。それも、感染者は 20 代・30 代が中心になっている。

ワクチン接種の予約は、市町も取りやすくなっている。また、県庁での大規模接種会場は、夜間に予約なしで接種が受けられる。予定が組みにくい人は、大規模接種会場を利用してほしい。

また、1 回目と 2 回目の両日の都合が揃わない場合、2 回目を後にずらすことはできるので、電話(0952-25-7616)で相談を。

佐賀県では、希望する最後の 1 人までワクチン接種できるよう取り組んでいる。

産業政策課長／「SAGA おいし～と食事券 第 2 弾～やっぱり佐賀が好き～」の今後の販売スケジュールをお知らせする。

第 2 弾の食事券は好評で、1 回目に用意した 20 万冊のうち、12 万冊以上が販売済みになった。121 販売店のうち、半数で完売した。

- ・第 2 回目は、23 日(土)～ 10 万冊
- ・第 3 回目は、30 日(土)～ 10 万冊を販売する。

今後は、1 回目の販売スピードが早かった販売所に重点的に出荷する。また、より多くの人を利用できるように、1 回当たりの購入冊数を現在の 10 冊から、2 回目以降は 5 冊に変更する。

「SAGA ナイトテラスチャレンジ」は、飲食店の店先にテラス席を設け、オープンエアで飲食を楽しむ企画。大変好評で、昨年に続き今年も開催する。

- ・期間は、10 月 8 日(金)～30 日(土)の金曜日と土曜日
- ・時間は、18 時から 22 時

佐賀市中央大通りの 15 店舗で開催する。具体的な店舗は、ホームページに掲載されている。

知事／感染者数は、1 週間 1 桁が続いている。昨日の PCR 検査が 744 件と多いのは、学校関係を念のため検査で幅広く検査したため。

「なぜ感染者がゼロにならないのか」と聞かれることがある。件数が少なくなっても、デルタ株の影響でなかなかゼロにはならない。

感染者が少ない間に第 6 波に備えておく。冬に向けて、さらなる病床の増床、病院からの下り搬送を想定した臨時医療施設の設置、県北部を念頭に療養ホテルの交渉をしているところ。第 6 波が、どのような形で起こるかわからないが、あることを前提に、機動的、戦略的なオペレーションができるよう、今から準備しておきたい。

ワクチン接種は、医療従事者、高齢者から順にはじめ、最終局面を迎えている。2 回接種の 1 回目は、来週で完了する見込み。接種を希望する人は、平日夜間に県民ホールで予約なしでも接種が受けられる。ぜひ、利用してほしい。

現在、県内は「支え愛局面」。「SAGA おいし〜と食事券」、「SAGA ナイトテラスチャレンジ」、「佐賀駅南テラスチャレンジ」、「支え愛宿泊キャンペーン」を利用して「支え愛」をお願いする。

また、贈答品や返礼品に、佐賀県産品をご利用いただきたい。

人が移動できるようになっても、医療現場はコロナの対応をしている。保育所、ワクチン接種の現場、公務員、県民の皆さんに心から感謝申し上げる。

佐賀県は、エールを送り合う慈しみの県。誹謗中傷は決して行わないように。さまざまな事情でワクチンを打てない人がいる。差別的なことは避けてください。

チーム佐賀・オール佐賀で 1 つになって準備をして乗り越えましょう。